

# 新調整役企業を承認

## 福山・伏見町の再開発

JR福山駅前の伏見町地区「福山市伏見町市街地再開発準備組合(藤本慎介理事長)は

22日、市内で臨時総会を開き、計画の企画提案などを担う新たな調整役の企業として、関西などで再開発事業の実績がある「ユーデーコンサルタンツ」(大阪市)を選ぶことを承認した。景気悪化な

どによる事業の頓挫で、昨年9月に別の企業が撤退した後、同組合が新たな企業の選考を進めていた。

準備組合によると、ユーデーコンサルタンツは、35階建ての住宅棟や商業棟などを建設する現計画を縮小し、地区を分割して再開発ビルなどを整備する案を提示している。

今後、地権者の意向も聞き取りながら新たな計画づくりを進めるといふ。計画策定には2年程度かかる見通し。

伏見町地区の再開発事業をめぐっては、現計画の中心を担っていた不動産開発会社「アーバンコーポレイション」が08年8月に経営破綻し

て以来、参加企業の撤退が続いていたが、今回の選定で再始動することになった。

(吉田博行)